

## ピア・メディエーションの有効性を考える

ピア・メディエーション。聞き慣れない言葉かもしれないが、アメリカ合衆国や英国などで行われている市民性教育の一つである。「メディエーション技能」を用いて、児童・生徒の間で発生するトラブル、悪口や、言いがかり、誹謗中傷、などを自分達の問題として解決することができる、このような子どもたちを育成する教育である。我々の研究グループでは、本年度、ハワイ州のピア・メディエーションなどについて研究してきた。その研究成果を本シンポジウムで明らかにし、ピア・メディエーションの有効性について検討していきたい。本シンポジウムでは、まず、メディエーションのイメージを参観者のみなさんに持ってもらうために、参観者にメディエーションを経験して頂く。その後、アメリカ合衆国における学校教育段階でのピア・メディエーションの概要について、また、日本で先進的に行われている学士教育段階でのピア・メディエーションについて報告をする。最後に、ワークショップや報告の内容を踏まえ、ピア・メディエーションの有効性に関する議論を深めていくため、日本でメディエーションの普及に取り組んでいるNPOの関係者や教育委員会関係者、弁護士などを交えて、パネルディスカッションを行っていく。

日時：3月17日（日） 12：30 開場 13：00～16：40

場所：千代田区立 日比谷図書文化館 スタジオプラス（〒100-0012 千代田区日比谷公園1番4号  
日比谷公園内 日比谷公会堂北 <http://hibiyal.jp/hibiya/about.html>）

12：30～ 開場・受付

13：00～13：10 シンポジウムの趣旨 福井大学教育地域科学部 准教授 橋本康弘

13：10～14：40 ワークショップ 金沢大学法学系 教授 東川浩二

14：40～15：10 報告

福井大学教育地域科学部 准教授 橋本康弘

金沢大学法学系 教授 東川浩二

15：10～15：30 休憩

15：30～16：30 パネルディスカッション

パネラー 金沢大学法学系 教授 東川浩二

金沢大学法学系 教授 野坂佳生

横浜市教育委員会 主任指導主事 梅田比奈子

日本メディエーションセンター 代表理事 田中圭子

司会 金沢大学法学系 准教授 福本知行

福井大学教育地域科学部 准教授 橋本康弘

16：30～16：40 閉会の挨拶 金沢大学法学系 教授 野坂佳生

定員：50名（事前申し込み要）

参加料：無料

主催 法に関する教育教材開発研究会

後援 法と教育学会、金沢大学（予定）、福井大学（予定）

申込先・問い合わせ先：福井大学教育地域科学部 橋本康弘

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学教育地域科学部社会系教育講座

E-Mail [hasimot@u-fukui.ac.jp](mailto:hasimot@u-fukui.ac.jp) TEL/FAX(0776)27-8449

※本シンポジウムは、(財)民事紛争処理研究基金の助成を受けて、実施するものです。